

第11回札幌市公共交通協議会

令和6年12月運賃改定の効果について(報告)

令和6年12月運賃改定の効果について(報告)

■運賃改定の概要

コロナ禍で減少したバス利用者の回復が見込めず、また、深刻な運転手不足によるバス路線の減便・廃止が進む中、バス事業者の収益を改善し、待遇改善による運転手確保を図るため、令和6年12月、協議運賃による市内特区運賃の改定を実施。

・運賃改定内容(R6.12)

運賃制度	改定前	改定後
特殊区間1区	210円	240円
特殊区間2区	240円	270円

・市内の運賃体系概況



令和6年12月運賃改定の効果について(報告)

■運賃改定による待遇改善効果

運賃改定による増収を踏まえた待遇改善策とその効果
(北海道中央バス・ジェイアール北海道バス・じょうてつ 3社合計)

運賃改定による増収分	1,601百万円	令和7年度見込額
------------	----------	----------

項目	金額(要した額)	主な内容
①賃上げ	594百万円	定期昇給 等
②各種手当の充実	206百万円	賞与増 等
③職場環境の改善	159百万円	休憩所建替や整備 等
④福利厚生の充実	32百万円	検診費用の補助拡充 等
合計	991百万円	①～④の合計額

※ 上記のほか、コロナ禍による収支悪化で実施できなかった設備更新等を運賃改定による増収分を活用して実施

平均年収(3社平均額)	483万円	改定前と比べ約30万円アップ 【参考】全産業平均: 527万円(2024年時点)
-------------	-------	---

令和6年12月運賃改定の効果について(報告)

■運転手の確保状況(北海道中央バス・ジェイアール北海道バス・じょうてつ 3社合計)

○運転手 Dalam籍数の推移

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
運転手 Dalam籍数	1,818人	1,799人	1,647人	1,574人	1,526人
対前年度増減	▲37	▲19	▲152	▲73	▲48

➡過去5年で運転手の Dalam籍数は大きく減少した。

(背景)・全産業平均よりも年収が低かった(▲70万円程度)。

・コロナ禍の乗車人員の減少による運行便数の縮小及び2024年問題(労働時間規制)に伴う手当等の減少が、運転手の離職を加速させたと推測される。

○運賃改定後の運転手の採用・退職者数の状況

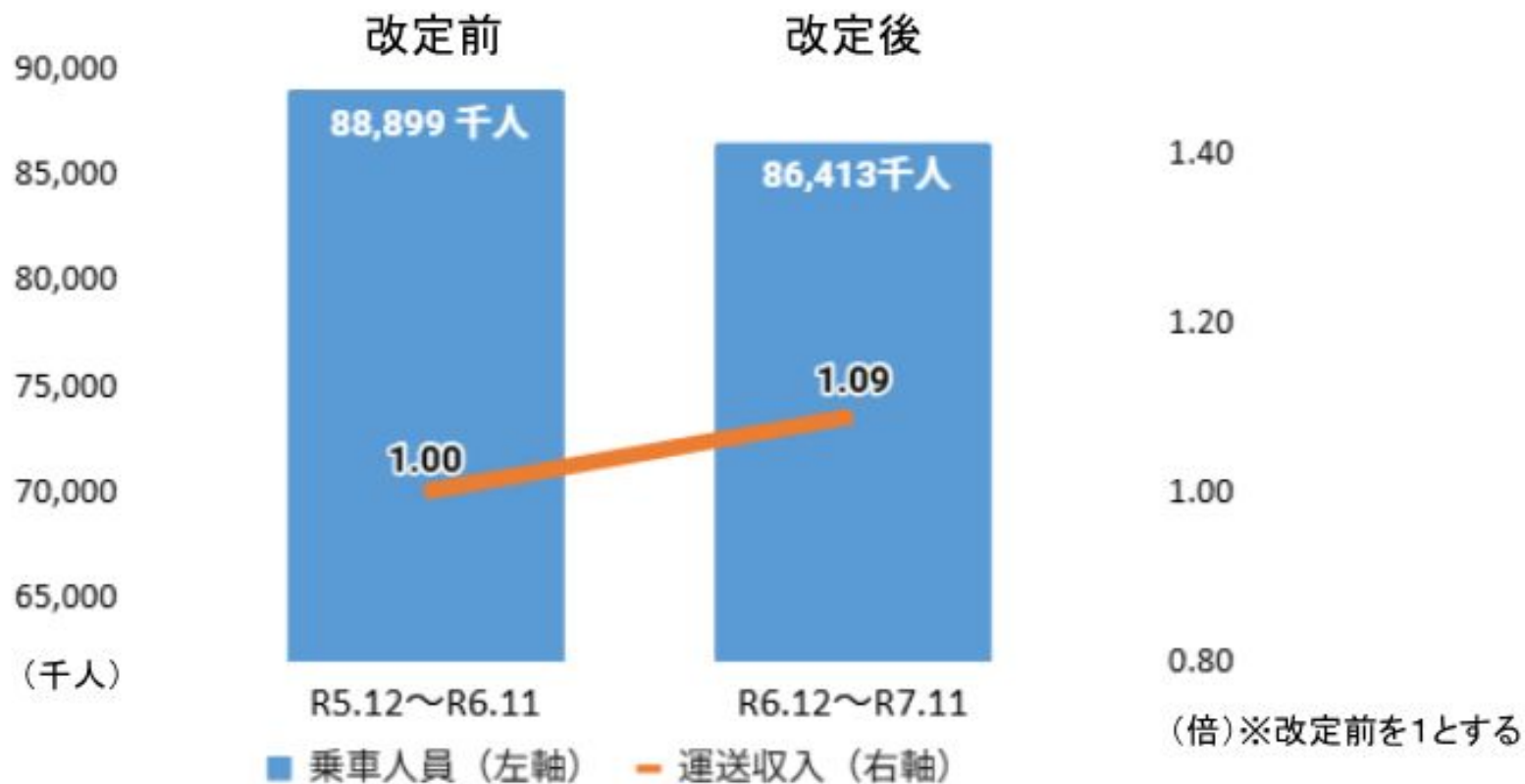
	改定後(R7.4~R7.11)
採用者数	60
退職者数	53
採用者数 - 退職者数	7

➡運賃改定後の運転手の確保状況は一旦横ばいであるものの、過去に大きく減少した運転手数を補えるものではない。

令和6年12月運賃改定の効果について(報告)

■運賃改定前後における乗車人員・運送収入の推移

運賃改定前と比べ乗車人員は減少した一方、運送収入は増加



札幌における北海道中央バス、ジェイ・アール北海道バス、じょうてつ3社の運賃改定前及び改定後の12か月(12月～11月)合計値の比較